

## 一般社団法人 Clan PEONY 津軽 令和7年度第3回定時理事会議事録

1. 招集年月日 令和8年2月18日(水)
2. 開催日時及び場所 令和8年3月25日(水) 15時00分～  
青森県弘前市大字下白銀町1番地6 弘前市民会館 2階第一小会議室
3. 理事の数及び出席理事の数並びにその出席方法  
理事:15名、うち出席理事:12名(本人出席)
4. 出席理事の氏名  
櫻田 宏、高樋 憲、佐々木 孝昌、倉光 弘昭、工藤 貴弘、濱舘 豊光、三上 千春、長峰 徹吏、  
中山 佳、小田桐 亨二、木村 知紀、笹田 哲文
5. 出席監事の氏名  
木村 一、村上 靖浩
6. 議長の氏名  
櫻田 宏
7. 議事録署名人の氏名  
櫻田 宏、村上 靖浩
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果  
定刻を迎えた時点で全理事の過半数(理事総数15名中12名)が出席しており、定足数を満たしているため、  
理事会が成立していることを確認した。定款第36条の規定により、「理事会の議長は理事長がこれにあたる」  
こととしていることから、櫻田理事長が議長席について議事に入った。

### 【議案審議】

#### 議案第1号 令和8年度事業計画(案)について

事務局より、令和8年事業計画(案)について説明し、承認された。

#### 議案第2号 令和8年度予算(案)及び市町村負担金(案)について

事務局より、令和8年度予算(案)及び市町村負担金(案)について説明し、承認された。

#### ○工藤理事

- ・法人運営費400万円について、プロパー導入の経緯と採用者の経歴を教えてください。

⇒事務局

プロパー採用の経緯について、法人設立時より構成市町村からの研修派遣により法人運営してきたが、国のDMOに対するガイドラインの変更に伴い、より専門性の高い人材の配置が求められている。それに対し、令和7年度より各種会議で議論を重ねた結果、令和8年度よりプロパー職員の配置の決定に至った。採用者の経歴については、長年、弘前市内の観光施設にて観光振興に従事していた方である。

- ・今後、法人運営していくうえで、プロパー職員を増員していくという考え方でよろしいか。

⇒事務局

現状の財務状況から、すぐに増員させていくというのは難しいが、国や地域からの要請に基づき、専門性の高い業務の遂行にはプロパー職員の採用は必須であると考えているため、構成市町村からの職員派遣の比率を下げて、プロパー職員の比率を上げていきたいと考えている。

## ○木村理事

・ワークインクの部分で「宿泊料金の調整」と記載されているが、具体的な内容を知りたい。

⇒事務局

宿泊データ分析システムを地域の宿泊事業者に導入してもらうことで、地域内の平均宿泊額の把握や、最長3か月先までの予約状況の確認、さらに津軽地域のみならず、全国のデータも確認できるため、収集したデータを参考に宿泊料金の調整を行うことで客室稼働率の向上を目指している。あくまでデータ収集のための施策であり、そのデータから算出された宿泊料金を宿泊施設の強制させるものではない。

## 議案第3号 津軽地域観光地経営戦略(案)について

事務局より、津軽地域観光地経営戦略(案)について説明し、承認された。

## ○木村理事

・宿泊業を営む立場として、ビジネス需要から徐々に観光客(バックパッカーなどの単身客)も増えており、CP・津軽の活動が着実に効果を出していると感じている。しかし、冬季に関してはまだまだ多くの課題を抱えている。冬季間に對してもっと連携したアイデアなどを出し合った施策を行いたい。二次交通についても、今冬の豪雪の影響により、青森市から津軽エリアへの誘客に大きな影響が出た。その部分に對しての施策も一緒に考えていきたいと思っている。意見や質問ではなくお願いである。

⇒事務局

観光地経営戦略については、今作って終わりたいものではなく、環境の変化に應じて都度見直しはしていく。計画、実践、検証、改善というサイクルで戦略を磨き上げていく。冬季の課題について、長年の課題とされてきているものの、インバウンドを中心に冬季の需要は伸びてきている。台湾、韓国に加えシンガポールからの観光客も増加している。海外を見据えた施策も行いながら、アロマ・ショーのみならず具体的な体験商品の造成もワークインクが活用しながら行っていきたい。二次交通についても、地域の事業者とコミュニケーションを重ねながらしつかり進めていきたい。

## 【報告事項】

報告第1号 理事長及び専務理事の職務執行状況について

事務局より、理事長及び専務理事の職務執行状況について報告した。

## ○桜田理事長

⇒記載は漏れているが、2月に八甲田ホテルで開催された衆議院予算委員会理事會及び懇親會に私も出席してきた。県内の市町村ではなく、DMOに声がけしたものであり、しつかりと14市町村での連携した取り組みや魅力をしつかりと伝えてきた。

報告第2号 当法人の活動状況について

事務局より、当法人の活動状況について報告した。

報告第3号 青森県・函館観光キャンペーンについて

事務局より、青森県・函館観光キャンペーンについて報告した。

## 【その他】

事務局より、人事異動に伴う事務局体制について報告した。

○三上理事

・今年の豪雪による影響により、観光に大きな影響が出た。JRの運休により新青森駅から津軽エリアに来られないという声が多く寄せられた。市町村や県からはもちろん、DMOからもしっかりと声を上げてJRと交渉してほしい。

⇒櫻田理事長

JRについては直接秋田支社長とやりとりしており、弘前市の部長も要望活動を行っている。市でも県でもDMOでもしっかりと声を上げて、改善に向けて要望を続けていきたい。

○櫻田理事長

その他、理事の皆様から何か意見はないか。

⇒出席者一同

特になし。

議長は、以上で議案全部の審議を終了したので閉会する旨を述べた。

時に16時00分

上記の通り議事の顛末を記録し、議事録署名人が記名押印する。

令和8年3月25日

議事録署名人

理 事 長      櫻 田   宏

監      事      村 上   靖 浩



